

第 4 回中高一貫校に関する検討協議会報告

- 〔日 時〕 平成 26 年 6 月 4 日（水） 14：00～16：00
〔場 所〕 県庁 5 階 正庁
〔出席者〕 委員 16 名

事務局より、教育内容、入学者選抜(募集定員)、部活動、校名・校歌の制定及び制服の選定、広報等について別紙資料により説明が行われ、委員からは次のような意見が出された。

1 教育内容について

- 各学年 30 単位の教育課程となっているが、進学を希望する生徒に対しては放課後の課外等で十分な対応を。また、学習法や進路指導に関するガイダンス機能も充実させてほしい。
- フレームとしては野心的であり、評価したい。中高一貫校によって双葉郡のコミュニティが再生することに大きな意義がある。県内外から注目される魅力的な教育内容にするためにも、外部人材の活用はもちろん、優秀で意欲的な教員を配置してほしい。
- S G H 指定に向けては、カリキュラムの工夫だけでなく、海外との姉妹校締結や留学生の受入れなど、体制づくりが重要である。
- 選択科目の構成等については、生徒や外部の方々の声を反映させるなどして見直しを行い、改善を図るべきである。
- 連携によるスタートにあたっては「ふるさと創造学」が目玉になるので、小中学校との情報共有を踏まえた、より丁寧な内容の検討が必要である。

2 入学者選抜（募集定員）、部活動について

- 意見等、特になし。

3 校名・校歌の制定及び制服の選定、広報について

- 校歌や制服は、入学した I 期生が検討していくという方法もある。その過程で地域の方々に関わっていただくことも可能である。
- 志望校決定を目前に控えた 3 年生のためにも、積極的に情報を提供し、早期にアンケートを実施すべきである。

4 その他

- 双葉郡の子どもの学ぶ意欲を早い段階から育むためにも、併設型の中学校を早期に設置すべきである。
- 寮については、教育施設としての機能を果たすような配慮を望みたい。
- 中高一貫校には、社会教育施設としての機能も担っていただきたい。子どもの学びをとおして地域を活性化させていくという視点も重要である。



校名応募用紙

※※ 応募期間 6月9日(月)～6月30日(月) ※※

学校名 (案)	(読み) ふくしまけんりつ	こうとうがっこう
	福島県立	高等学校
上の案を考えた理由		
応募区分 該当の項目に○をつけてください。	①世代 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 保護者 <input type="checkbox"/> その他() ②現在お住まいの地域 <input type="checkbox"/> 県北 <input type="checkbox"/> 県中 <input type="checkbox"/> 県南 <input type="checkbox"/> 会津 <input type="checkbox"/> いわき <input type="checkbox"/> 相双 <input type="checkbox"/> 県外 ③性別 <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	

用紙が足りない場合は、コピーしてお使い下さい。
 校名案を一人で2点以上応募する場合は、コピーしてお使い下さい。

◆◆ お問い合わせ・応募先 ◆◆

〒960-8688 福島県福島市杉妻町2番16号
 福島県教育庁 高校教育課

TEL 024(521)7771 Fax 024(521)7973



応募者連絡先

住所・電話番号(児童・生徒の皆さんが応募する場合は学校名のみで結構です)	〒	TEL ()

県外への転居前にお住まいの都市町村(番地名等不要)		
氏名・年齢・性別(児童・生徒の皆さんは、「中1」「高2」など学年のみで結構です)		
年齢(学年)() 性別()		

応募者の住所・氏名などの個人情報は、福島県教育庁高校教育課からの問い合わせ等に使用し、目的外に利用することはありません。

応募に際し収集した個人情報は、厳重に管理します。また、本人の同意を得ることなく、第三者に開示・請求することはありません。